

## 平成 21 年度 都道府県技師会委託事業 「がん制圧・乳がん撲滅」啓発事業 全国展開！

平成 21 年度全国都道府県技師会委託事業である「がん制圧・乳がん撲滅」に関する啓発事業が、9 月～10 月で終了した。

この事業は全国都道府県技師会に日臨技が公益事業を委託(委託金 30 万円)し実施されるもの。

近年、「乳がん」におけるピンクリボン運動、「大腸がん」のブレイブサークル運動など、早期発見、治療を目的とした活動が国民に浸透しつつある。がん疾患では早期発見や治療の経過を知る検査に、大きく臨床検査技師が関わっている事は医療分野では良く知られている事だが、それをより多くの国民に知っていただく事も大切である。

今回、全国 7 地区-36 技師会の受託によりこの事業が展開された。その活動内容としては街頭において、がん検診を呼びかけながらの啓発チラシ、ティッシュ配布、講演会、がん検診、患者、家族、その支援団体などで構成される「リレフォーライフ」への参加、全国統一ピンクリボン運動への参加など幅広い内容である。

この活動を通じ国民へ、がん検診の啓発や、がん治療への情報共有などと共に臨床検査技師の存在を印象づける事が出来た一との報告が受託技師会より多く寄せられた。紙面では各地区 1 技師会の紹介に止めるが、参加技師会、参加会員に感謝とお礼を申し上げる。今後も公益委託事業に対し、ご理解・ご参加をお願いします。 【組織制度部公益事業企画推進委員会】

### 新潟県

新潟県では 2006 年 10 月に技師会も参加して「新潟はっぴー乳ライフ」が発足し、一般市民へ乳がんの早期発見の大切さや正しい知識を知ってもらう活動を行っています。今年は 10 月 18 日(日)に新潟市の朱鷺メッセで「ピンクリボンホリデー 2009」と題して開催されました。

公開講演やパネルディスカッションの他、ドキュメンタリー映画の上映(余命 1 ヶ月の花嫁)、乳がんに関する医療や看護相談、展示ブースなどが開設されました。若年層から高齢者まで約 500 名の方が来場され、乳がんに関する関心の高さがうかがえました。



当技師会は、初めて無料検査体験ブースを開設しました。血管年齢とストレス度測定を実施し、延べ 550 名という大変多くの方々に臨床検査を体験していただきました。製薬メーカーや他医療団体も展示ブースを出店されていましたが、当技師会だけ長蛇の列ができ、臨床検査の集客力を改めて実感しました。

今後も継続して参画し、一般市民へ臨床検査技師および検査技師会の認知度向上を図りたいと考えます。 【小柳博明】

### 群馬県

群馬県臨床衛生検査技師会では 10 月 17 日(土曜日)にガン征圧、乳がん撲滅啓発事業と致しまして、伊勢崎市にて午前中に街頭活動、午後には公開講演会を行いました。

街頭活動の場所はベイシア西部モール(ショッピングモール)を選択しました。伊勢崎市は大きな駅が無い為、市内では最も人が集まる所です。ピンク地に黒い文

字で(がんの早期発見は「検査」から)と印刷された幟旗を立て、やはり同文を背中に印刷したピンクのイベントブルズンを着用して行いました。

配布したのは「おっぱいは自分で守る!!」のスローガンで乳がん自己検診の有用性を訴えるものと午後の公開講演を告知するリーフレット、「乳がん撲滅キャンペーン」と題した群臨技オリジナルのポケットティッシュです。中には迷惑そうに受け取りを拒否された方もいましたが、比較的好意的に受け取ってくれた方が多かったように思います。11 人のスタッフで約 1 時間程度の活動でした。

公開講演は伊勢崎市民プラザで行いました。群馬県立がんセンター乳腺科部長、柳田康弘先生をお迎えし「かしこい女性の乳がん講座」の演題で開催致しました。内容は乳がんの病態、検査や治療について、一般の方々にも解りやすい講演でした。また、合わせまして当会理事の永井みゆき氏による「子宮頸がんを無くそう」の講演も致しました。

来場された方々は大変興味深く聞いて下さっていたように思います。講演会の広報としては地元新聞に掲載の依頼、技師会員の各職場及び市内の保健所、健康管理センター等でのポスター掲示も行いましたが、用意した会場には若干空席が目だってしまいました。広報方法の更なる工夫が必要と思われました。



今回の活動で、乳がん撲滅の啓発と臨床検査技師会の存在を市民の人々にアピール出来たと思います。 【新井幸一】

### 三重県

今回、三重県臨床検査技師会は、日臨技公益委託事業の一環である『乳癌撲滅啓発』に参加いたしましたのでご報告させていただきます。

2009 年 9 月 13 日に三重県の松阪市で開催された健康フェスティバル 2009(一般市民参加者 3800 名)の中で臨床検査技師 50 名が背中に乳癌撲滅を記載したピンクの T シャツを着用し乳癌啓発運動を行いました。



啓発内容としては、リーフレットの配布(乳がんからあなた自身を守るために)とエコー検査機器による画像デモ・乳がんの細胞診像検鏡を実施いたしました。その他にマンモグラフィー像、超音波像、細胞診像の写真展示とスライドを用いての説明も行いました。

さらに、看護師における自己診断の方法と触診の重要性を説明していただき、また、医師相談コーナーも併設し内容を充実することができました。

乳癌撲滅のネーム入り『ピンク T シャツ』を着用したことで注目度および効果は非常に良かったと思う。

啓発リーフレット(500 枚)ペットボトル(200 本)の配布および説明ができ多大な啓発効果があったと考えられる。

一般市民の方々に乳癌の超音波像や細胞診の癌細胞を説明出来たことも収穫であった。今後、臨床検査技師が今以上に社会的貢献ができる事業に参加する必要があると思われる。 【山本幸治】

次ページへ続く...